

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成31年2月13日)

- 1 平成28年度県民経済計算の推計結果について

【統計課】・・・ 1ページ

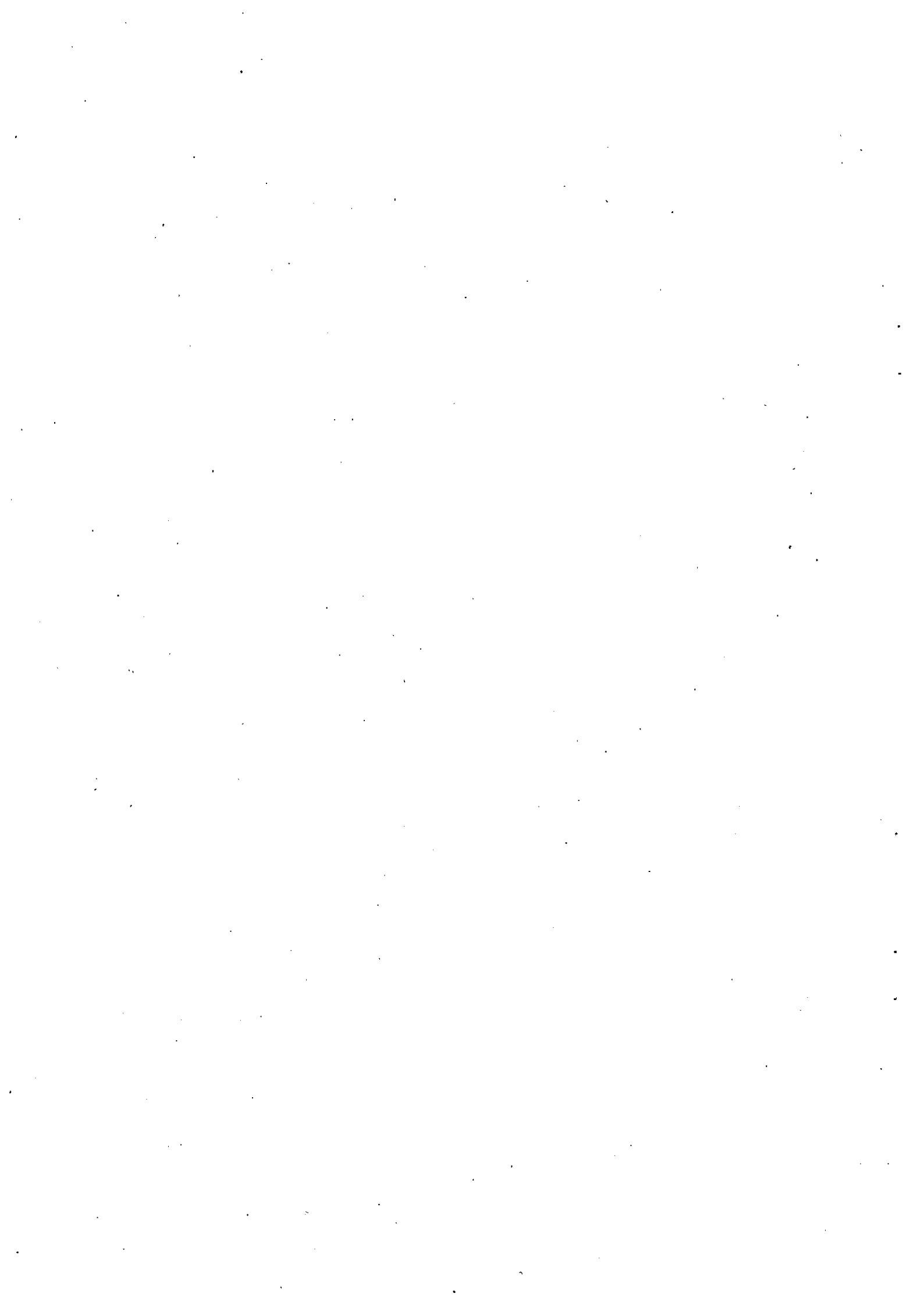
- 2 「アートピアとっとり行動指針」(案)に係るパブリックコメントの実施結果について

【文化政策課】・・・ 2ページ

- 3 第74回国民体育大会冬季大会「イランクラブテクしろさっぽろ国体」への
鳥取県選手団の派遣について

【スポーツ課】・・・ 5ページ

地 域 振 興 部



平成 28 年度県民経済計算の推計結果について

平成 31 年 2 月 13 日
統 計 課

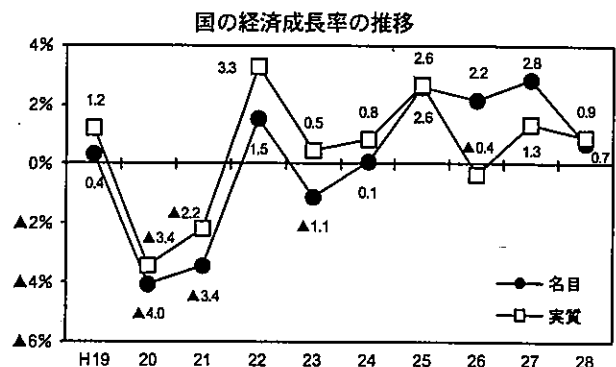
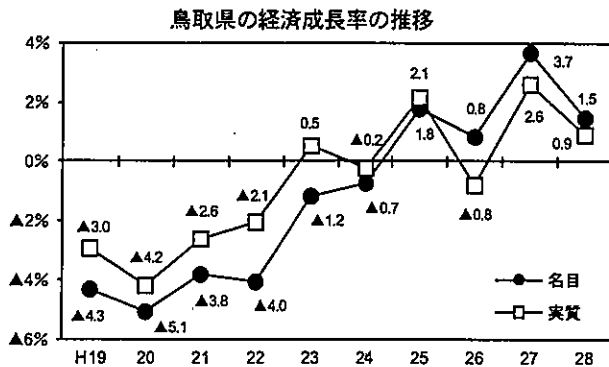
平成 28 年度県民経済計算*の推計結果を公表しましたので、その概要を報告します。なお、詳細な統計表については、統計課ホームページで公開しています。(公表日：平成 31 年 2 月 4 日)

【主要な推計結果】

- 名目県内総生産 1兆8,641億円 前年度比+1.5% (国の前年度比+0.7%)
- 実質県内総生産* 1兆8,234億円 前年度比+0.9% (国の前年度比+0.9%)
- 1人当たり県民所得* 241万円 前年度比+1.6% (国の前年度比+0.4%)

1 経済成長率 (県内総生産の前年度比)

名目では、4年連続のプラスであり、2年連続で国を上回る経済成長となった。
実質では、2年連続のプラスであり、国と同程度の経済成長となった。



2 産業別の動向

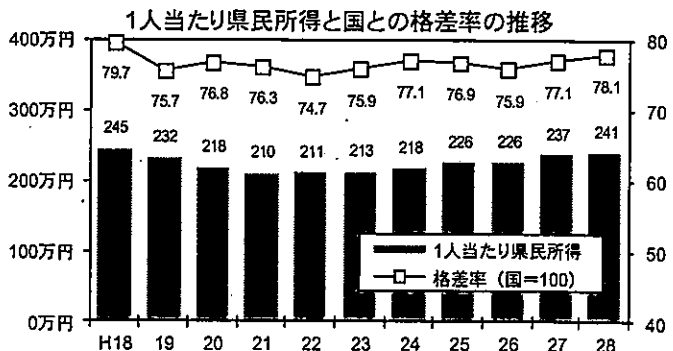
第1次産業、第2次産業、第3次産業の全てがプラス成長となった。

第2次産業は、製造業がマイナス成長となるも(主に中間投入の増による)、建設業が大幅プラスで全体を押し上げた。

第3次産業は、医療業、電気・ガス・水道業、宿泊・飲食サービス業など、多くの産業がプラスとなった。

3 1人当たり県民所得

7年連続で前年度を上回り、国との格差はやや縮小した。



【注】

* 県民経済計算：県の経済活動によって1年間に生み出された付加価値を推計したもの。主な推計指標は、県内総生産(県のGDP)、経済成長率(県内総生産の前年度比)、県民所得など。今回の推計対象年度は平成28年度。なお、既公表の平成18～27年度値も、新規公表統計の反映、推計方法の見直しなどによって遡及改定。

* 実質県内総生産：名目県内総生産から物価変動の影響を取り除き、基準となる年の価格に換算したもの(平成23暦年連鎖価格)。

* 1人当たり県民所得：県民所得を人口で割った指標。分子の県民所得は、雇用者報酬のほか財産所得と企業所得を含む。分母の人口は、就業者だけでなく、子どもや高齢者などの非就業者も含む。

「アートピアとっとり行動指針」(案)に係るパブリックコメントの実施結果について

平成31年2月13日
文化政策課

本県の文化芸術推進に係る目指す姿や取組の方向性を示す「アートピアとっとり行動指針」(案)に係るパブリックコメントを実施し、意見概要及びその対応方針について取りまとめるとともに、アートピアとっとり行動指針の最終案を作成しましたので報告します。

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 募集期間

平成31年1月21日(月)から2月4日(月)まで

(2) 意見募集の周知方法等

県のホームページに掲載したほか、ソーシャルメディア(アートピアとっとりTwitter、Facebook)による発信や、チラシの配架(県民課、各総合事務所、市町村役場ほか)、新聞広告を行った。

(3) 応募のあった意見の件数

21件(11人)

(4) その他

今回の意見及びその対応結果については、県のホームページを通じても公表します。

2 アートピアとっとり行動指針(案)の概要

(1) 根拠法令

文化芸術基本法第7条の2

(2) 計画期間

平成31年4月から5年間

(3) 取組の方向性 ※内容は別紙のとおり

- ・とっとりで「アート」に親しむ ～環境づくり～
 - ・だれもがアートに親しむことができる機会の充実と環境整備
 - ・アートの拠点である文化施設の充実と新たな拠点づくり
- ・とっとりの「アート」が育む・「アート」を育む ～人づくり～
 - ・子どものアート鑑賞・体験機会の充実
 - ・アートを支える様々な人材の育成
- ・とっとりの「アート」で元気に ～地域づくり～
 - ・アーティスト等と共に創る地域のアート活動の推進
 - ・地域の「宝」を活かした活力ある地域づくり
 - ・美術館整備に向けた体制づくり

(4) 今後の予定

- ・3月 アートピアとっとり行動指針の策定、公表

3 意見の概要及び意見に対する対応方針

※対応方針 ①反映した(一部反映を含む)、②記載済、③その他

(1) とっとりで「アート」に親しむ ～環境づくり～ について

意見の概要	意見に対する対応方針
県展、とりアート、あいサポート・アートとっとり展等県内各地を巡回して鑑賞できるようにしてほしい。	① 県展等の催しについては現在県内各地区で巡回・実施しており、指針案にも「県内各地区での(開催)」と加筆し、引き続き取り組みます。
質の高い舞台公演が米子市に偏って開催されているため、鳥取市・倉吉市でも開催してほしい。	② 質の高い舞台公演を提供する旨を記載しており、引き続き県内3地区で県文化振興財団主催事業等の良質な公演が開催されるよう取り組みます。
障がい者アートの取組がなぜ障がい福祉課なのか。障がい者のアート活動が注目されているが障がい者のアート活動は文化政策ではないということでしょうか。県として支援のレベルアップを求める。	② 障がい者アートの推進は、本県の文化施策のひとつであり、指針案にも掲げているところです。障がいのある人には、障がいの特性に配慮した事業展開が必要な部分もあることから、現在、障がい福祉課が中心となって、文化政策課や文化関係者等と連携して取組を進めています。昨年10月には全国に先駆けて「鳥取県障がい者による文化芸術活動推進計画」を策定し、障がいのある人のアート活動を推進するための施策を一層強化しているところです。
イベントに少額で助成をしても単発でしかない。継続的な活動を促すにはハードの初期投資に支援が必要。ハード整備といえば行政が行うものだけに予算を割り、民間のソフト事業だけに少額の予算計上をしては県民の文化振興の力がつかない。逆ではないか。	② 様々な場所をアート活動の場として活用していくことを記載していますが、民間のハード整備については、目的や公益性・公共性・効果など様々な観点で個々の事案ごとに検討すべきものと考えています。
身近に因州和紙を使用できる施設があれば、写真や絵画、版画などあらゆるジャンルの表現方法とのコラボが容易になり、発表や交流の場にもできれば文化の底上げが期待できる。	② 様々な場所を創作・発表・交流の場として活用する取組を進める旨を盛り込んでおり、御意見も参考にさせていただきます。
大企業との連携をバックアップしてほしい。(文化振興に力を入れている中央の企業との橋渡しのことをしてほしい。)	② アート活動に関する助言、情報提供、紹介等を行う旨を記載しており、個々の案件について県文化政策課や県文化振興財団において対応します。
文化活動をやりたいがどこに相談しに行けば良いのか、プラットホーム的な場を県内の東・中・西部のせめて3カ所には作るべきではないか。	② 文化施設等においてアート活動に係る相談を受け付け、助言等を行う旨を記載しており、県文化振興財団の3地区の窓口について情報発信していきます。

(2) とっどりの「アート」が育む・「アート」を育む ～人づくり～ について

意見の概要	意見に対する対応方針
多くの学校に「とっどりの芸術宅配便」を鑑賞・体験してもらいたい。	② 「とっどりの芸術宅配便」など子どもたちの鑑賞・体験・実践の機会の充実について記載しており、積極的に取り組むこととしています。
美術や文化、郷土への意識は、幼児期から気づけば当たり前のように身に付いていたということが望ましい。考えることや疑問を持つことに鈍くなった感覚を揺り動かし、自分の感覚をよりどころに考えられることにアートの意義があるのではないか。子ども達には鳥取県の郷土でそういうものを育んでもらいたい。	② 乳幼児が良質のアートに触れる機会を提供するアートスタート活動の推進や、学校での表現ワークショップなどの実施について記載しており、子どもたちが体験を通して多様な個性・価値観に触れ、心を動かし考える活動を推進して、幼少期から文化や郷土への意識を育む取組を推進していきます。
アートスタート運動を充実してほしい。子どものうちから本物の舞台芸術に触れることは、とても重要だと思う。	② 乳幼児が良質のアートに触れる機会を提供するアートスタート活動の推進について記載しており、引き続き推進していきます。

意見の概要	意見に対する対応方針
写真と因州和紙を融合させることにより、産業の発展につなげられるのではないかと。活用を国内外につなげるには、長期的な視点を持って特性、汎用性を高めることのできる人材（和紙専門に特化した）の育成に期待する。	① 伝統的な技術・技能の伝承を図るための後継者育成や、活用に結びつける取組への支援を行っているところであり、そうした取組についても記載します。
本文中の「文化芸術団体や文化施設等および県内市町村と連携し、(中略)人材育成とその活用を図ります。」を達成させるためには苦勞する。団体や施設にはそれぞれの方針があり、それに沿ったものしか生まれなくなる。	② 様々な手法・内容の学びの場を提供できるよう、文化芸術団体や文化施設等と連携して取り組むこととしており、御意見も参考にさせていただきます。
アートを支える人材が、多くの時間をアートを支えるために費やせば、それに見合う対価があるのが自然だと思う。アートの制作は工事受注と同じで、時間や費用の積み上げ作業が必要。積み上げをしないで予算要求を行っているのではないかと。	③ 地域の活動については、その活動を後押しできるよう、地域や活動団体の状況等を伺いながら支援しています。

(3) とっとりの「アート」で元気に ～地域づくり～ について

意見の概要	意見に対する対応方針
新美術館に、他にはない写真と因州和紙に特化した常設展示と交流・体験の空間を創設し、山陰発の新しい文化構築につなげてはどうか。	② 新美術館では、特定の分野に限らず、多彩で良質な「とっとりのアート」と「鳥取の文化的個性」に親しめる鑑賞機会を提供することとしており、御意見も参考にさせていただきます。 また、県民の創作活動の発表や発信の場とするとともに、様々な文化活動者の活躍の場として、県民ギャラリーやスタジオ等を設けます。
アーティスト・イン・レジデンスを指針に盛り込んでほしい。(3件)	① 一般的にわかりやすい表現とするため、「アートを活用した地域活性化」の取組等と記載していますが、地域外から来て「地域に滞在して創作活動を行うアーティスト」の姿をイメージしやすいよう、「県内外の」と加筆し、「県内外のアーティストと住民が交わりながら(中略)活動を行う(後略)」と記載します。
アーティスト・イン・レジデンスの記述が少ないので、深く掘り下げて取り組んでほしい。	② 取組の方向性について概略のみ記載しているものですが、地域活性化につながる取組として推進しています。
本文中の「アーティストが住民と交わりながら地域の良さや固有の文化に目を向け、活動を行う(後略)」の主体は、アーティスト「が」となっているが、アートピアの創造を推進する者が担えばよい。実態を知るためにも、アート事情と地域連携のコンサルタントをする人を雇うなりして意見を聴くべき。	③ 地域の団体が滞在アーティストとともに取り組む活動を想定しているため、「アーティストが住民と(後略)」について、「県内外のアーティストと住民が(後略)」とします。 アートを活用した地域活性化の取組については、活動団体の皆様の御意見も伺っており、団体間の意見交換の場を設ける等、取組が進むよう工夫していきます。
少子高齢化をどう克服していくのか。	② アートを活用した地域課題の解決に向けた取組を推進している旨を記載しており、少子高齢化も課題のひとつと考えています。

(4) その他(本県の動向)

意見の概要	意見に対する対応方針
3ページの本県の動向で3番目と4番目の項目が策定順であれば、日付順に並んでいた方が良くと思う。これ以降の説明上、逆がよければそれもまた良いと思う。	③ あいサポート条例(平成29年制定)及び鳥取県障がい者による文化芸術活動推進計画(平成30年10月策定)の関連性が強いことから、日付順とせず、鳥取県美術館整備基本計画(平成30年7月策定)を4番目にしたものです。

第74回国民体育大会冬季大会「イランカラプテくしろさっぽろ国体」への
鳥取県選手団の派遣について

平成31年2月13日
スポーツ課

第74回国民体育大会冬季大会「イランカラプテくしろさっぽろ国体」への鳥取県選手団の派遣の概要について報告します。

1 大会概要

- (1) スローガン 「北国の 雪と氷に 刻む夢」
- (2) シンボルマーク
大会回数の「74」をモチーフに、直線と曲線の組み合わせは競技の持つスピード感を表現。(右図)
- (3) 「イランカラプテ」とは アイヌ語の「こんにちは」
- (4) 会期
 - ・スケート競技会・アイスホッケー競技会(釧路市) 鳥取県は出場者無し
平成31年1月30日(水)～2月3日(日)(5日間)
 - ・スキー競技会(札幌市)
平成31年2月14日(木)～17日(日)(4日間)



2 鳥取県選手団

○スキー(本部役員8名、監督2名、選手28名、トレーナー2名)

【本部役員】

団 長 内田 博長 鳥取県スキー連盟会長
副団長 後藤 裕明 公益財団法人鳥取県体育協会専務理事
副団長 太田 裕司 鳥取県地域振興部スポーツ振興監
総監督 山崎 孝夫 鳥取県スキー連盟副会長 ほか

【旗手】

芦澤 海李(あしざわ かいり)(桜ヶ丘中)少年男子ジャイアントスラローム

【監督・選手・トレーナー派遣者数内訳】

()内は昨年の派遣者数

区 分 種 目	監督	選 手							選手 計	トレーナー	合計
		成年男子			成年女子		少年				
		A	B	C	A	B	男子	女子			
ジャイアント スラローム	1	3	1	1	1	0	6	4	16	1	18
	(1)	(2)	(1)	(1)	(0)	(0)	(6)	(4)	(14)	(1)	(16)
クロスカントリー	1	3	0	2	0	0	3	4	12	1	14
	(1)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(5)	(2)	(10)	(1)	(12)
合 計	2	6	1	3	1	0	9	8	28	2	32
	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(0)	(11)	(7)	(24)	(2)	(28)

3 本県出場予定種目・開催日・会場

○スキー競技会

種 目	開 催 日	会 場
ジャイアントスラローム	平成31年2月15日～17日	サッポロテイネ(札幌市手稲区)
クロスカントリー	平成31年2月15日～17日	白旗山競技場(札幌市清田区)

《参考》昨年(第73回国体冬季大会)の結果

- ア 入賞者 なし
イ 総合成績 下表のとおり

区 分	男 女 総 合 成 績				女 子 総 合 成 績			
	得 点			順位	得 点			順位
	参加 得点	競技 得点	合計 得点		参加 得点	競技 得点	合計 得点	
スケート	10	0	10	28位	10	0	10	22位
アイスホッケー	10	0	10	12位				
ス キ ー	10	0	10	21位	10	0	10	16位
合 計	30	0	30	33位	20	0	20	25位

【スキー競技（ジャイアントスラローム）】

〔監督：1名 トレーナー：1名 選手：16名 計：18名〕

※平成30年4月1日現在の年齢

種別	派遣区分	ふりがな 氏名	年齢 学年	勤務先・学校名等
全種別	監督	もりおか やすひこ 森岡 靖彦	47	ヒュッテ白樺
全種別	トレーナー	すみやま いち 炭山 慧一	32	医療法人 養和会
成年男子A	選手	おおし しょうた 大藤 翔太	25	智頭町役場
	選手	こだに りょうじ 小谷 峻慈	25	(公財) 鳥取県造林公社
	選手	たなべ けんすけ 田邊 謙介	18	日本大学
成年男子B	選手	こだに けんたろう 小谷 健太郎	29	鳥取県警察
成年男子C	選手	いさ のり たくる 糸乗 克	38	鳥取城北高等学校
成年女子A	選手	なかばやし あや 中林 彩	21	京都産業大学
少年男子	選手	うちだ そら 内田 青空	3年	米子北高等学校
	選手	あしざわ ゆうき 芦澤 祐希	2年	鳥取城北高等学校
	選手	きもと まこと 木本 誠人	2年	鳥取城北高等学校
	選手	ほりい ひびき 堀井 響	1年	鳥取城北高等学校
	選手	ひろえ ゆうと 廣江 悠仁	1年	県立米子東高等学校
	選手	あしざわ かり 芦澤 海李	3年	鳥取市立桜ヶ丘中学校
少年女子	選手	やまむら いろは 山村 鈴菜	3年	鳥取城北高等学校
	選手	いのうえ かな 井上 佳奈	3年	鳥取城北高等学校
	選手	はら かな子 濱 佳代子	1年	県立鳥取西高等学校
	選手	まき はるか 牧 はるか	1年	県立米子東高等学校

【スキー競技（クロスカントリー）】

〔監督：1名 トレーナー：1名 選手：12名 計：14名〕

※平成30年4月1日現在の年齢

種別	派遣区分	ふりがな 氏名	年齢 学年	勤務先・学校名等	
全種別	監督	わたなべ 渡部	かすゆき 和幸	56	医療法人 養和会
全種別	トレーナー	なかの 中野	としひろ 敏寛	53	良善幼稚園
成年男子A	選手	おかだ 岡田	ゆうひ 勇飛	23	陸上自衛隊 第8普通科連隊
	選手	えんどう 遠藤	だいき 大輝	22	鳥取大学
	選手	かわもと 河本	りゅう 龍	18	日本体育大学
成年男子C	選手	いわなみ 岩波	あきひろ 昭宏	42	陸上自衛隊 第8普通科連隊
	選手	かわばた 川端	だいすけ 大介	37	陸上自衛隊 第10普通科連隊
少年男子	選手	かわもと 河本	かい 海	1年	米子北高等学校
	選手	ないとう 内藤	そういちろう 颯一郎	1年	米子北高等学校
	選手	のまか 野坂	ゆうじろう 勇二郎	1年	米子松蔭高等学校
少年女子	選手	えんどう 遠藤	まき 葵	3年	米子北高等学校
	選手	あさだ 浅田	なつ 夏	1年	米子北斗高等学校
	選手	うちだ 内田	めぐみ 恵	3年	米子市立東山中学校
	選手	しばた 柴田	まい 舞	3年	日野町立日野中学校

